

「スキルアップ研修会」に参加して

医療 八木 梨莉子

スキルアップ研修会に参加して、栄養士会の運営や管理栄養士・栄養士の将来像について考える良い機会となりました。また、褥瘡の栄養管理について理解を深めることができました。

今回のスキルアップ研修会には褥瘡の栄養管理についてより詳しく学びたいと思い参加させていただきました。褥瘡発生要因や危険因子などを図で示されたスライドは非常にわかりやすく、実際のガイドラインを基に褥瘡予防や発生後の栄養管理について説明していただくことで、今まで目を通したことがなかった褥瘡予防・管理ガイドラインの内容についても理解をすることができました。講習の中で特に興味を惹かれた内容は「今後、創傷治癒促進に期待される栄養素」です。腎疾患を合併している患者さんに対して褥瘡治癒に向けてたんぱく質を付加しづらいことに悩んでいました。オルニチンが腎機能低下している高齢者や腎疾患の患者さんにも使用できるアミノ酸として注目されていることを知り、改めて日々新しい情報を取り入れること、知識を更新することが重要であると感じました。

栄養士会の講習では、管理栄養士・栄養士の社会的地位を確立し必要とされる職業になることが重要であると学びました。AI化が進む時代に一人一人の食生活に寄り添い、それぞれに合う食事と栄養素を組み合わせた提案ができる管理栄養士が求められると感じました。そのためには、栄養学的な勉強と共に相手が話しやすい環境を作るコミュニケーション能力を身に付けることも大切であると思います。

最後の各部会の説明や参加者の皆さんの質疑応答では、自分が経験できない現場の悩みや相談を共有することで、病院では直面しない場面についても考える良い機会となりました。違う分野で働いているからこそ、違う目線で解決の糸口が見つかることもあるのではないかと思います。これからも栄養士会の研修内容やそこで出会った方々から受けた刺激を仕事に生かし、管理栄養士として少しでも社会に貢献できるよう日々自己研鑽に努めたいです。

「スキルアップ研修会」に参加して

福祉 菅 詩緒莉

スキルアップ研修会では、褥瘡評価ツール DESIGN-R2020 についての講演、栄養士会の組織と運営、管理栄養士・栄養士の社会的役割についての講演を聞くことができました。

褥瘡評価ツール DESIGN-R2020 についての講演では、褥瘡の発生要因、好発部位といった基本的な部分、前回からの改定点を解説していただきました。褥瘡の状態による栄養管理の質問もピックアップして説明していただき解りやすかったです。

私は特養で勤務しているため、褥瘡評価ツールについてほとんど知りませんでした。実際の褥瘡の写真や治癒までの流れについて分かりやすい説明があり、今回の講演で新たな知識を得る事が出来ました。

現在勤務している施設では、褥瘡の利用者さんが幸いなことに数人しかいません。褥瘡についての栄養管理に触れていなかったのが今回の講演を機に褥瘡ができた利用者さんの状態のチェックや、栄養管理の見直しを行おうと思いました。DESIGN-R2020 についても看護師の方に協力をしてもらいながらも褥瘡について学びたいと感じました。

栄養士会の運営の講演では、栄養士会の活動、重要課題の一つである卒後教育の重要性などについて学びました。JDA2021 年度総会スローガンの中の一つ Society5.0 社会における管理栄養士・栄養士の未来に向けて着実に取り組もうが印象に残っています。持続可能な開発目標 (SDGs) に対して管理栄養士たちがどう取り組んでいくのか、どのように関わられるのか自分自身は何ができるのかを考えると感慨深いです。

今回コロナ禍での開催という事でグループワークはなく、自己紹介という形式でしたが、様々な職域の管理栄養士の方の悩みや思いを聞くことができました。このような研修会に今後も参加し、自分のスキルを高め、日々の業務に活かしたいと思います。社会から尊敬され、無くてはならない存在の管理栄養士に向けて日々精進していこうと思います。

貴重なお話を聞くことができ、充実した時間となりました。